

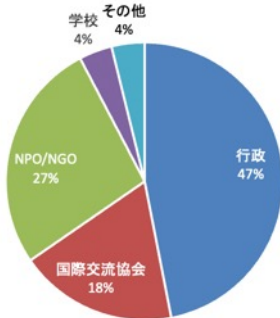
研修・ コンサルティング事業

各地での多文化共生への基礎理解や、テーマ別に具体的な実践事例の紹介、今後の取組みについて考える場づくり等をサポートする。



【主な講演テーマ】

- ・多文化共生とは
- ・やさしい日本語
- ・災害時対応
- ・地域日本語教育
- ・外国人と人権
- ・発達障害支援



【実績】

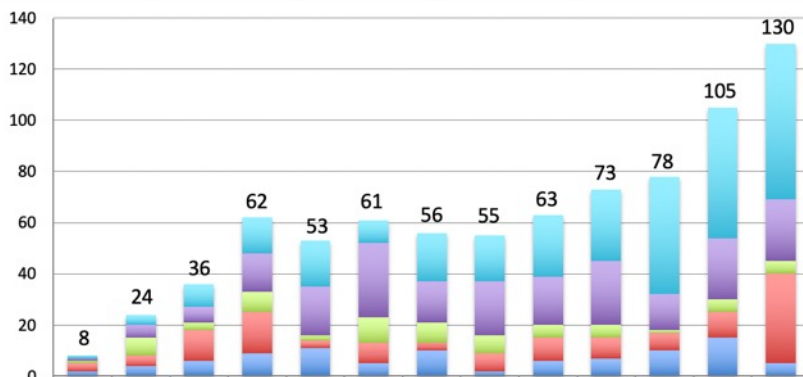
130件(過去最多)
(内訳)
行政 61件
国際交流協会 24件
学校 5件
NPO/NGO 35件
その他 5件

【参加者の声】

「多文化共生」というのが、今後の自治体運営の中でキーワードとなるものであり、推進していく必要があることを学ぶことができました。

永住者や日本人の配偶者等の方で、日本に長く暮らしていても、やさしい日本語では難しい場合もあり、やさしい日本語と多言語化の両方をきちんと使い分ける必要がある点が参考になりました。

外国人に日本語で話しかけても良いということに気付いていませんでした。私のなかで外国人に話しかける行為のハードルがグッと下がったことが大変嬉しく思います。



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
行政	1	4	9	14	18	9	19	18	24	28	46	51	61
国際交流協会	1	5	6	15	19	29	16	21	19	25	14	24	24
学校	1	7	3	8	2	10	8	7	5	5	1	5	5
NPO/NGO	3	4	12	16	3	8	3	7	9	8	7	10	35
その他	2	4	6	9	11	5	10	2	6	7	10	15	5

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの研修会や会議、相談等がオンライン(ビデオ会議システム)で実施されました。対面とオンラインは、それぞれに一長一短があります。支援活動の現場を直に見て、その場の空気を体感することは、質の高い支援につながります。一方で、オンラインでは物理的な距離を問わず、より多くのご相談に対応できます。それぞれのメリット生かして、今後も上手に使い分けていきたいと思っております。



土井佳彦

セミナー・イベント 企画運営事業

多文化共生に関する他団体主催のセミナーやイベントの企画・運営に協力する。



岐阜県「多言語翻訳等ICT活用事例セミナー」

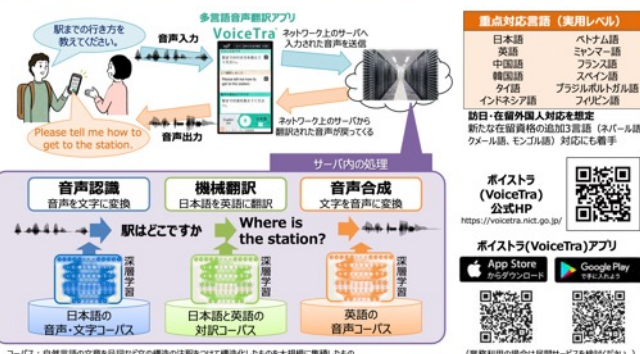
【日 時】2022年1月25日、27日、31日、2月4日
 【方 法】オンライン (Zoom)
 【ゲスト】総務省情報流通振興課、コニカミノルタ株式会社、凸版印刷株式会社、宇都宮大学、NPO法人eboard、ファーストメディア株式会社、ランゲージワン株式会社、株式会社コングレグローバルコミュニケーションズ

名古屋市中区「やさしい日本語」で落語を楽しもう！

【日 時】2022年3月21日(月祝)15:30~17:30
 【場 所】中区役所及びYouTube配信
 【ゲスト】桂かい枝さん、ドアン・ディン・ティンさん (ベトナム出身、日本福祉大学2年生)、ワマン・ミゲルさん (ペルー出身、南米専門店PUKIO店主)、宮下レインさん (フィリピン出身、中区役所外国人コンシェルジュ)、名古屋市立大学山本ゼミのみなさん

総務省・NICTにおける多言語翻訳技術の研究開発

- ▶ 総務省・NICTでは、長期間にわたり多言語翻訳技術の基礎研究を実施し、技術・ノウハウ等を蓄積。
- ▶ 訪日・在留対応を想定した12言語について、AI技術活用により実用レベルの翻訳精度 (TOEIC900点相当) を実現。



コーパス：自然言語の文章を語句などの構造的な注釈をつけて構造化したものを大規模に集積したもの

重点対応言語 (実用レベル)

日本語	ベトナム語
英語	ミャンマー語
中国語	フランス語
韓国語	スペイン語
タイ語	ブラジルポルトガル語
インドネシア語	フィリピン語

訪日・在留外国人対応を想定
 新たな在留資格の追加3言語 (ネパール語、クメール語、モンゴル語) 対応にも着手

ボイストラ (VoiceTra) 公式HP
<https://voicetra.nict.go.jp/>

ボイストラ (VoiceTra) アプリ
 App Store | Google Play



今年度は2つのイベントの企画運営をさせていただきました。どちらも初の試みで、なかなか準備が大変でしたが、多くの方のご協力を得て実施することができました。岐阜県のセミナーでは、実に多くの多言語翻訳ツールが開発されていること、またその翻訳精度もかなり向上していることがわかりました。中区のセミナーでは、落語家の桂かい枝師匠をお迎えし、楽しみながら「やさしい日本語」について広く知っていただくことができました。コロナ禍だったため、YouTubeでのリアルタイム配信も大変好評でした。

土井佳彦

ブラジル学校における日常生活及びキャリア教育の日本語コミュニケーション力向上モデルプロジェクト

(文化庁委託事業)



【事業内容】

- 1.生活及びキャリア形成のための日本語教育
- 2.日本語カリキュラム及び教材開発
- 3.在日ブラジル学校における日本語教育実態調査
- 4.在日ブラジル学校における日本語教師のためのオンデマンド研修
- 5.在日ブラジル学校における日本語教育を考えるオンラインセミナー

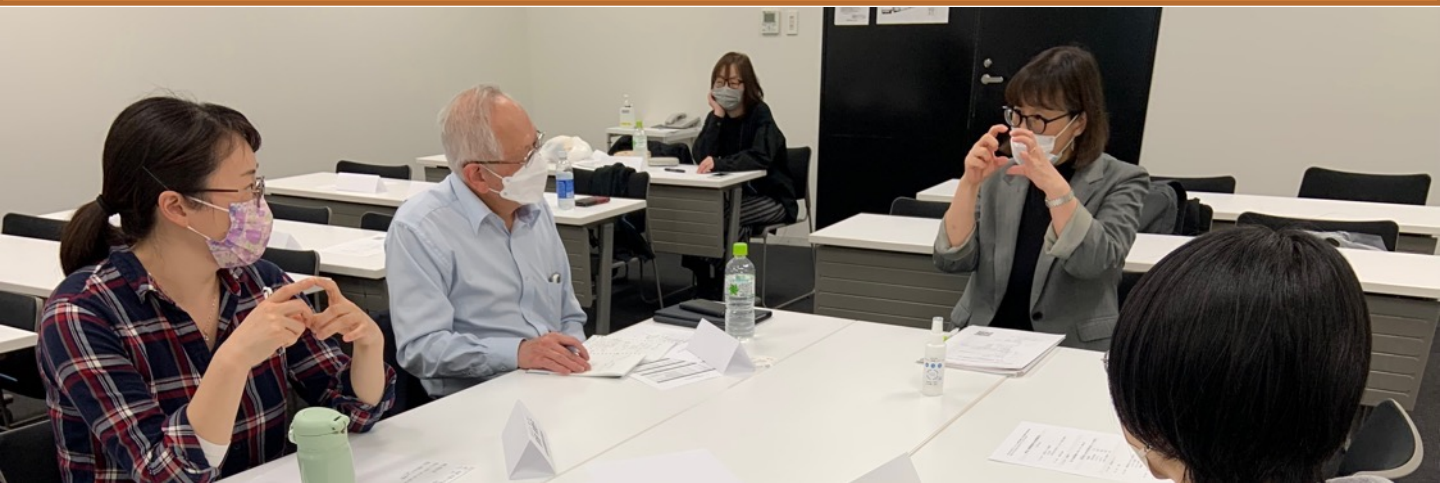


土井佳彦

愛知県豊田市にあるブラジル学校「エスコラ・ネクター」は、日本で初めてブラジル政府教育省からの認可を受けた学校で、約30年の歴史を持ちます。当初はブラジルに帰国予定の子どもたちがほとんどでしたが、今は卒業後も日本で暮らす生徒のほうが多くなっていることから、今まで以上に日本語教育に力を入れたいという協力依頼を受けて取り組みました。全国各地のブラジル学校は、それぞれに様々な事情を抱えていますが、そこで学ぶ子どもたちが自信を持って日本でも生きていけるように応援していきます。

官民連携による多言語 相談窓口体制強化事業

県内の多言語相談体制の強化を目的に、行政や国際交流協会、NPO等との連携強化や人材育成を行う。(トヨタ財団事業)



【期間】

2020年5月1日～2022年4月30日(2か年)

【内容】

- ①多言語相談窓口実態調査の実施(1年目)
- ②相談員等への研修会開催(2年目)
- ③成果報告会の実施(毎年1回)
- ④多言語相談体制強化に向けた検討(毎年)



【相談員向け研修会】

1. オンデマンド研修
2022年4月1日(金)～10日(日)
2. オンライン研修
2022年4月10日(日)13:00～15:00
3. 対面研修
2022年4月17日(日)13:30～16:30



栗木梨衣

昨年度の実態調査から見てきた多言語相談窓口の現状と課題を踏まえ、プロジェクト2年目は、「連携と研修」をテーマに検討委員で議論を重ねました。特に、研修については、「オンデマンドでの自主学習」→「オンラインでの補習」→「対面による具体的な事例を踏まえたワークショップ」という流れを検討し、モデル的に実施もしました。これらの結果を踏まえ、他機関、他分野の事例も調査しながら、今後は、さらにきめ細かく、実施方法と内容を検討していきたいと思えます。

帰国困難者等への 生活支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で帰国困難な状況にある人等への支援に取り組む。
(赤い羽根共同募金等助成事業)



【支援内容】

生活相談、就労支援、生活物資・食料提供等

【支援対象】

相生山徳林寺(名古屋市天白区)、愛知夜間中学を語る会(名古屋市中北区)、Ayudame A Ayudar(半田市)、国際こども学校(名古屋市昭和区)、ささしまサポートセンター(名古屋市中村区)、多文化共生サポートAdagio(西尾市)、多文化共生ひがしうら(東浦町)、名古屋難民支援室(名古屋市中区)、他



2020年5月からスタートした、コロナ禍における帰国困難者等への支援活動は、2022年3月までの約2年間継続してきました。状況の変化に伴い、助成金を活用しての大規模な活動は一旦終了し、今後は細かなニーズに応じて適宜サポートしていきたいと思っております。この間の活動について、詳しくは右のQRコードから団体ブログ「帰国困難者支援活動」をご覧ください。毎月の活動状況をお伝えしています。



情報発信及び ネットワーキング

多文化共生に関する情報を不特定多数の人に発信し、日常における多文化共生の認知度・理解度を高める。新型コロナ関連情報も多数。



特定非営利活動法人 **多文化共生リソースセンター東海**
 国籍や文化に関係なく、みんなが安心して楽しく暮らせる社会にしたい

- ホーム
- 団体概要
- About us
- 活動実績
- 成果物等
- 講師派遣
- 会報誌
- メディア掲載
- サポーター募集
- お問合せ

多文化共生

NPO法人多文化共生リソースセンター東海

多文化共生分野の中間支援NPOです。 <https://nmc-t.blogspot.com/>

3 フォロワー 24 フォロワー

設定

帰国困難者支援活動

NPO法人多文化共生リソースセンター東海 23件

新型コロナウイルスの影響を受け、2020年5月から2022年3月までの2年間に軽生山徳林寺で行った帰国困難者の支援活動についてまとめました。

ホーム 記事 メンバーシップ マガジン スキ プロフィール 仕事依頼 月別

2022年6月の活動報告

研修・コンサルティング今月もオンラインでの会議や研修、打ち合わせを多数行いました。来月は対面の機会も...

2022年5月の活動報告

研修・コンサルティングGW明けあたりから、多くのご相談・ご依頼をいただくようになりました。後...

2022年度 講師派遣規定

当団体の講師派遣につきまして、オンライン対応へのお問い合わせを多くいただいておりますので、ホーム...

2022年4月の活動報告

研修・コンサルティング 毎年、4月と5月は「仕込み」期間です。電話やメール、オンラインでご相談を...

【ホームページ】

- ・閲覧数 約12,700pv

【facebookページ】

- ・いいね！ 3,141件 (前年度 +64件)
- ・フォロワー 3,332人

【ブログ】

- ・投稿数 33件
- ・閲覧数 7,316pv (前年度 +5,587)



あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク

非営利団体

フォロー中



今年度は、年間を通じて毎月2回以上、ブログを通じて普段の活動状況等を発信しました。その成果もあってか、閲覧数は昨年度の4倍以上となりました。会員の皆様になかなか普段の活動をご覧いただく機会が少ないのですが、こうした発信を今後も続けて、少しでも当団体の活動を知っていただくよう努めたいと思います。また、2022年5月に発足した「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク」にコアメンバーとして参画しています。これについては今後詳しくご紹介していきます。

土井佳彦

その他の取組

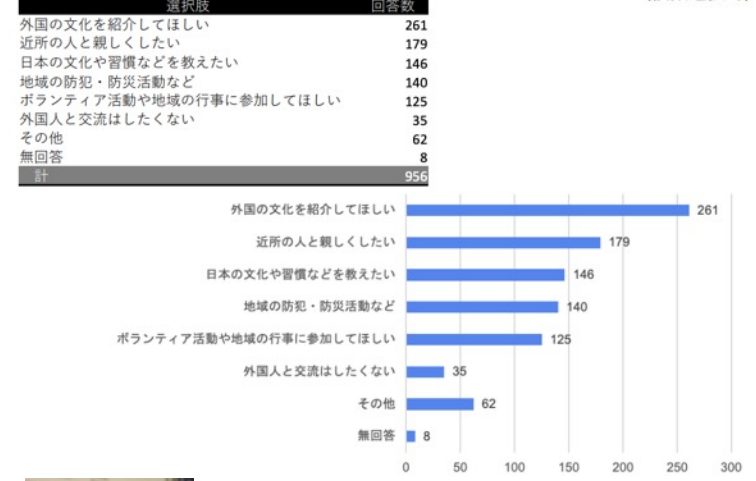
多言語通訳・翻訳コーディネート、先進事例視察
コーディネート、多文化共生に関するアンケート調
査等、その他目的達成に必要な事業



移民政策学会 社会連携委員会
2021年度冬季大会
フィールドスタディ in 浜松
2022年5月28日(金)
【訪問先】
・浜松国際交流協会様
・COLORS様
・セルヴィツ一様



問20 あなたは今後、外国人とどのような交流機会があると思いますか。
(複数選択可)



伊賀市委託事業2021年度「伊賀市多文化共
生のまちづくりアンケート調査結果」
【調査期間】
2021年12月15日～2022年1月10日
【回収結果】
日本人 560件、外国人151件
事業所・団体等 63件 計774件



土井佳彦

伊賀市さんでは近年、多文化共生のまちづくりに関する指針や計画の策定が勧められており、その一環として行われた住民アンケートをお手伝いさせていただきました。多くの方から交流機会の充実を求める声が寄せられており、コロナ禍での難しさもありますが、少しずつ機会創出が進むとよいと思います。また、30年以上にわたって多文化共生施策を展開してこられた浜松市でのフィールドワークでは、移民2世代目の活躍を目の当たりにし、今後の取り組みに大きな希望と期待をもつことができました。